

科目名	居住環境論				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2021年度 後期	単位数	2		
担当教員	柴崎 恭秀				
内容および計画	居住環境とは、われわれの住空間において温度や湿度などの物理的環境以外に、光や風景などがわれわれにもたらす心的影響も含めて環境として定義される。この物理的環境と心的環境のうち、前者は建築設備として語られることが多く、近年では機械制御や気密性の問題として扱われている。そして後者は住空間として重視されながらも室内空間とは切り離されて個別のものとして扱われることが多かった。ここでは住空間を軸にこの2つの環境をもう一度自然との関係から捉え直し居住環境としてどうあるべきかを論じる。またそれ以外の居住環境の要素と考えられるものも抽出して検証する。さらに日本人独自の居住環境の捉え方を文学や文化論の中からも抽出して題材としていく。				
1	ガイダンス－日本人の空間感覚と居住環境について シェルターから象徴へ－住空間の変遷				
2	ガイダンス－日本人の空間感覚と居住環境について シェルターから象徴へ－住空間の変遷				
3	居住環境の制御－微気候、雨の建築、風の建築 居住空間における設備計画				
4	居住環境の制御－微気候、雨の建築、風の建築 居住空間における設備計画				
5	居住環境の制御－微気候、雨の建築、風の建築 住宅に巣くう時間－「生きられた家」を検証する				
6	居住環境の制御－微気候、雨の建築、風の建築 住宅に巣くう時間－「生きられた家」を検証する				
7	調査課題提出及び発表				
8	調査課題提出及び発表				
9	あかりのありか－ひかりとあかり「陰翳礼賛」を参照して				
10	あかりのありか－ひかりとあかり「陰翳礼賛」を参照して				
11	内部空間と外部空間－内と外の繋ぎ目・中間領域 居住空間の表現－現代住宅考				
12	内部空間と外部空間－内と外の繋ぎ目・中間領域 居住空間の表現－現代住宅考				
13	これからの居住環境－民家から学ぶサステイナブルデザイン				
14	これからの居住環境－民家から学ぶサステイナブルデザイン				
15	研究成果のまとめ(講義内容・調査課題をまとめて講義録を作成する)				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	陰翳礼賛	谷崎潤一郎	中公文庫	4122024137	2003
参考書	ソフトユニオン『世界で一番やさしいエコ住宅改訂版』エクスナレッジムック 山田信亮 他『図解 建築設備の知識』オーム社 エドワード・ホール『かくれた次元』みすず書房 日本建築学会編『雨の建築学』『雨の建築術』北斗出版 安藤邦廣『茅葺きの民俗学』はる書房				
成績評価					

評価方法		割合(%)
出席状況（受講態度含む）		20
レポート課題		40
調査課題		40
学習到達目標	われわれの居住環境について、周辺環境を活かしながら住宅に取り入れる方法や制御方法について、工学的な視点のみならず、地域性、民家の知恵等からも学び、日本の地域に根ざした居住環境の在り方を考察する。	
先修条件		
実務経験	実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに15年以上従事してきた。一級建築士として20年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。	
その他		